



# ～もう一人の自分たち～

校長 島浦 昌乃

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成 (文責: 教頭 土器 修)

## 2、3学年夢実現プログラムの展開 ～職場体験、福祉体験交流会の実施～

### ◇ 2学年職場体験「夢をえがく」

9月7日(水)、8日(木)に2学年職場体験を実施しました。町内の事業所については、宇美町商工会議所に取組の趣旨をご理解いただき、許可を得て各事業所にご相談させていただきました。最終的には、町内外の25箇所の事業所(右)に生徒を受け入れていただきました。当初は9月6日(火)から3日間の実施予定でしたが、台風11号の接近による臨時休業のため2日間に縮小しました。コロナ禍にもかかわらず快くご承諾いただいたうえ、臨時休業にも柔軟にご対応いただき、心より感謝申し上げます。

中学生は、卒業までに、将来就きたい職業の候補を暫定的に1つ決めておくことが求められています。生徒1人1人が将来の夢を思いえがくためには、望ましい職業観(金銭報酬、個性伸長、社会貢献)が形成されなければなりません。実際に、この職場体験で2年生は、職場の方やお客様と接しながら働くことを経験し、「なぜ人は働くのか」について探究しました。2年生の活動のふり返りを紹介します。

橋本鮮魚店、ザ・ビッグエクスプレス宇美店、ナフコ宇美店、宇美の織の里もりおーる、パティスリーF、扇龍ラーメン、庄屋宇美店、季のせ、月歩、宇美町立図書館、宇美八幡宮、粕屋南部消防署、太宰府天満宮、原田小学校、原田保育園、早見保育園、博多第一幼稚園、そらとぶくじら幼児園、宇美幼稚園、三葉幼稚園、宇美ハピネス、岡部病院、(有)小林商事ニューリセス宇美、柴田自動車、西日本鉄道(株)宇美自動車営業所



商品製作現場の様子



商品提供の様子

- 魚をさばいたときに小骨を取り除いたり、お客様の年齢に合わせて酢の量を調節したりする一手間からお客様を大事にする気持ちを感じました。働くことはお客様の幸せのためだと感じました。
- 消防士は着替えることも訓練されていました。競争すると私たちよりも30秒も速く驚きました。命を落とすか分からない中で人を助けるためだと分かりました。素早い行動を心がけたいと感じました。
- リハビリのとき、利用者の方から「横にいてくれるから心強い」と言われたことが印象に残りました。看護師、理学療法士さんは常に利用者をご心配い温かく見守っていました。

### ◇ 3学年福祉体験交流会「夢をかたる」

9月7日(水)、8日(木)に、共生社会を生きる地域の一員としての自覚を深めさせることを目的に、3学年福祉体験講座を実施しました。コロナ禍のため、従来のように地域の老人会の皆さまのもとへ出向くことを控え、講師や指導者を地域からお招きする形で実施しました。

1日目は、宇美町社会福祉協議会、社会福祉法人相互福祉会希望学園のご協力のもと、認知症サポーター養成講座と福祉体験を行いました。認知症サポーター養成講座では、認知症の方との接し方の基本「3つのない」「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」を教わり、今後起こりうる場面で、どう接するかをロールプレイしました。相手がどういう事実認識であるかを踏まえ、相手の自尊心を傷つけずに対応する難しさを実感することができました。福祉体験では、車椅子体験、高齢者歩行体験、点字ブロック歩行体験を行い、どういう関わり方が適切なのかについて探究を深めることができました。



ロールプレイの様子



点字ブロック体験の様子

2日目は、校区コミュニティ運営協議会、自治会長会、校区老人会等のご協力のもと、計5名講師の皆様にご来校いただきました。原田下みづば会長の安川一馬様には「人生100年時代です」の演題で宇美町や校区の良さ、課題についてご講話いただきました。その後のトークセッションでは、四王寺坂1丁目自治会長の垂見博幸様、四王寺坂2丁目自治会長の手島美知子様、仲山自治会の峰博美様、四王寺坂いきいきサロン会長の寺本一道様に、3年生が「宇美町の将来像」について探究した成果を聞いていただきました。4名の皆様には、生徒の足りない視点等についてご助言、ご示唆いただきました。講話やトークセッションを通して、3年生は、今の自分たちが地域のためにできることについて真剣に見つめ直すことができました。



安川様の講話の様子



トークセッション(垂見様)の様子



トークセッション(手島様)の様子



トークセッション(峰様)の様子



トークセッション(寺本様)の様子

- 認知症の人が困っていたら、まずは驚かさないう優しい声で話しかけ、解決を支援し、笑顔にしたいと思いました。記憶に残っていないので、事実認識がずれることも踏まえて対応したい。
- 点字ブロック体験では初めて白杖を使って点字ブロックを意識して歩きました。白杖は便利だけど、点字ブロックに物が置いてあると危ないと感じました。そういう所も気をつけて見ていきたい。
- 「人生100年時代」なのでどういった老後を迎えるかばかり考えていました。今日の話で、どういう仕事に就き、どう仕事時代を生きかか大切だと分かりました。進路決定に真剣に取り組んでいこうと強く思いました。
- 地域が求める福祉は何だろうかと考えながら探究していました。一緒になって考えていただいたお陰で、自分たちが何かをしてやるのではなく、地域の人と支え合ってできることを目指すことが大切だと気がきました。

## 「同心協力」のもと最高の思い出を ～ 2泊3日宿泊研修の実施～

9月14日(水)～16日(金)、福岡県立社会教育総合センターにて2泊3日で、1学年宿泊研修を実施しました。令和元年度以来、3年ぶりの実施となりました。スローガンの「同心協力」には、全員の仲が良くなり、①1人1人が役割を果たし、マナーやルールを守って、望ましい集団としての自覚をもつこと、②仲間と協力して積極的に学びに向かうことを目指すという意味が込められています。出発式で、校長先生からは、周りが気持ち良く過ごせるように自分で考えること、いつもと異なる環境の中で体調が万全となるように自分で管理することの2つに取り組むようお話があり、1年生全員で意識して行動しました。

研修では、1日目に集団行動訓練、レクリエーションを、2日目に野外炊飯、キャンプファイアーを、3日目に黙働掃除を行いました。この3日間の活動で成功や失敗を多く経験することを通して、気付き、考え、行動することの大切さを深く実感することができました。何よりも、楽しむためには、強い自制心や努力が必要であることを学びました。最後の夜には、この研修の成果を1年生全員で確かめ、規律と友情を大切にすることをキャンプファイアーに誓いました。集団生活の基本となるここでの学びを、学校での学習や生活に生かし、さらに南中生として成長してくれることを期待します。



実行委員による進行の様子



班会議の様子



野外炊飯の様子



キャンプファイアーの様子

- あいさつするとき、2回目から声を出せるようになった。1回目から頑張れるようにしたいです。あいさつの練習後にみんなの声が元気になりました。成長を感じる場面でした。
- 整列するときにしゃべって何回も指導された。「これくらいいいだろう」という甘さが原因です。明日以降、声かけて他の利用者の迷惑にならないよう行動を律したいです。
- 3日間で変わったことがあります。1つは班員との協力です。前より大きく協力することができるようになりました。2つは班長の仕事です。初めての仕事で不安でしたが、自信をもってできるようになりました。
- 野外炊飯で朝から大変だったけど、今日一日先生からあまり指導されずに、自分たちの力で頑張れました。成長したなど実感しました。

## 家庭連携の協働活動の推進 ～ P T A 美化作業、あいさつ運動の実施～

9月3日(土)に、PTA美化厚生委員会主催のPTA美化作業を行いました。台風11号の影響で朝から曇天の中、47名のPTA役員、美化厚生委員、サポートスタッフの皆様がお集まりくださいました。生徒ボランティアも71名が参加し、早朝から校地と周辺には活気があふれました。夏季休業期間中は雑草が生い茂っていた花壇や正門・裏門横、駐車場もすっかり除草され、お陰様をもちまして校地は見違えるように整備されました。PTA会員の皆様には、「オブジェ周辺の除草に行きましょう。」「子どもたちだけでは荷が重いので植え込み周辺の手伝いに行きますか。」など互いに声をかけ合って取り組んでいただきました。令和3年3月の臨時休業以降で最も多数の会員の方にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

9月26日(月)、28日(水)、30日(金)には、PTA学年・学級委員会主催のあいさつ運動も実施しました。3日間で計32名の保護者の皆様に早朝よりご来校いただきました。このように本校では、生徒の豊かな心の育成に向けて、家庭との協働によるボランティア活動を今後も推進してまいります。次回のPTA美化作業は、11月26日(土)8時30分に予定していますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。



はじめの会の様子



正門周辺の様子



花壇周辺の様子

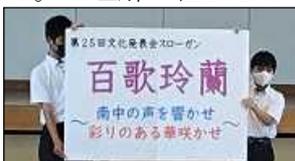


整備された校地の様子

## 「百歌玲蘭～南中の声を響かせ 彩りのある華咲かせ～」～文化発表会チーム集会の実施～

9月6日(火)に、第25代生徒会役員から、令和4年度第25回文化発表会スローガンが校内TV放送で発表されました。スローガン「百歌玲蘭～南中の声を響かせ 彩りのある華咲かせ～」の説明を通して、生徒会スローガン「昇蘭」の具現化に向けて互いに切磋琢磨し、思い合い、認め合い、個性のある華を咲かせたいという思いを南中生全員で共有しました。26日(月)には、このスローガンを受け、チーム集会を行い、10月14日(金)の文化発表会に向けて団結力を高めました。

今年度は、感染症対策として、合唱コンクールでは全校合唱、学年合唱を行わずに、各学級1曲のみの合唱とし、学級合唱の合計得点で各チームが競います。同じチームの先輩と後輩が互いに高め合うことで、個性のある華が咲き誇ることを期待します。保護者の皆様には、文書でお知らせしたとおり、感染症対策として参観を控えていただき、後日配信する動画で文化発表会の様子をご鑑賞いただくことにしました。ご理解の程よろしくお願いたします。



生徒会スローガン発表の様子



青チームスローガン発表の様子



赤チームスローガン発表の様子